

報道関係 各位

2021年4月25日

株式会社日本レースプロモーション

4月25日(日)
2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦
決勝速報

野尻 智紀(チーム・ムゲン)が、開幕から2連勝を飾る！！

国内レースの最高峰、2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦鈴鹿大会の決勝レースが、三重県鈴鹿サーキットで行われ、野尻 智紀(チーム・ムゲン)が開幕から2連勝を果たした。

ホームストレートでは追い風が強く吹く、気温23度、路面温度31度の快晴のもと、決勝レースは予定通り15時10分にフォーメーションラップが開始された。スタートでは、ポール・ポジションからスタートした福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が1コーナーを制し、一人だけ1分40秒台の速いペースで後続を徐々に引き離れた。ところが9周目の西ストレートで右リアタイヤがシバースト。そのまま無念のリタイアとなった。

代わってトップに立ったのは2番手からスタートした野尻。13周終了時にタイヤ交換を無難に消化したが、16周目に国本 雄資(ケーシーエムジー)がクラッシュ。セーフティカーが入ったが、残り11週の時点で再スタート。そのままトップを守り、開幕戦に続き2連勝を決めた。

2番手には平川 亮(カーエネクス チーム インパル)、3番手には笹原 右京(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が初表彰台を獲得。また、中嶋 一貴(クオバンテリン チーム トムス)に代わり初参戦となったジュリアーノ・アレジ(クオバンテリン チーム トムス)は、山本 尚貴(ティーシーエス・ナカジマレーシング)に続く9位でフィニッシュ。初参戦でポイントを獲得した。なお、野尻の優勝は、通算5勝目となった。

次戦、第3戦は5月15日(土)・16日(日)大分県オートポリスサーキットで開催される。

*記録の詳細は、オフィシャルサイトでご確認ください。

*ポイントランキングは、オフィシャルサイトに掲載いたしますので、そちらをご参照ください。



開幕から2連勝を果たした野尻 智紀(チーム・ムゲン)